



「富里地域ふるさと協議会」は、JR 柏駅から南柏駅に位置する7つの町会で構成されています。近隣センターを拠点に、町会の垣根を越えて、福祉活動や地域住民の交流を図り、住みよい生活環境づくりをめざして活動しています。

発行：柏市富里地域ふるさと協議会・富里地区社協部会  
<http://www.fk-tomisato.net/>

編集・制作：広報部 furukyo.koho@gmail.com  
 お問い合わせ：TEL 04-7173-9531（富里近隣センター）



**コロナのトンネルを抜けて！**  
 協議会会長 小池 守



**未曾有の疫病蔓延**

令和元年12月に発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に感染が拡大し、パンデミックとなりました。そして翌年3月から、長いトンネルに入りました。4月からは何もかも中止。持

続化給付金が支給され、外出時はマスクの着用が義務化。有名人の死亡がしばしば報道されました。また、東京オリンピック開催延期が決まり、富里地域でも創立40周年の式典は次年度へ延期することになりました。この年は、接近・接触を避けながら、子供たちの作品を中心に、1日だけのささやかな文化祭を開くのが精いっぱいでした。

**ワクチンの接種開始**

令和3年。待望のワクチン接種が始まりました。しかし感染者はさらに激増し、安心と絶望の繰り返しの中で、批判の声もありましたが、東京オリンピックが開催され、コロナ禍におけるイベントの基準ができたようです。しかし行政からの指導はなく、地域イベントは主催者任せというもので、各町会の

会長さんたちも、賛否両論ある中で、地域活動の実施には、勇気をもって難しい判断をしなければなりませんでした。

令和4年になると不安な世情に追い打ちをかけるように、戦争が勃発、要人が暗殺されるなど、世界中が不穏な空気に包まれました。国内では以前の生活を取り戻しつつあり、協議会でも創立40周年式典を、文化祭と合わせて盛大に実施しました。ここから富里地域は、全開で再出発をしました。

**トンネルを抜けて**

令和5年度。全員出席で4年ぶりの定期総会が開催され、ようやくトンネルの出口まで辿り着きました。任期満了で役員も刷新し、元に戻るのではなく、創立50周年に向けて新たな第1歩を踏み出しました。対面や接触を避ける生活が、SNS活用の重要性を促し、ふる協でも高齢者を中心に、ICT



太田柏市長の挨拶



4年ぶりの定期総会

講習会を行っています。回覧等によるイベントの案内や、連絡事項もアナログからデジタルに比重が移りつつあり、今後はホームページやメールマガジンなどもリニューアルしていく予定です。

**コミュニティスクール(CS)始動**  
 市内全小中学校でスタート

富里地域の小学校は、すでにCS体制をとっていますが、本年度から柏市内のすべての小中学校が、対象となりました。正式には「学校運営協議会」と言い、学校長から推薦を受けた10人の委員で構成

されます。意見交換の場であった以前の「学校評議員会」を発展させ、学校と連携をとって学校運営にも参加していく組織です。制度が始まったのがパンデミックと重なったため、本当の意味で本年度がスタートとなります。そんなCS委員さんたちが見守る中、数年前から5月開催となった豊小学校では、4年ぶりに全学年がそろって運動会を開催しました。保護者の見学も入れ替え制ではなく、気兼ねなく我が子の活躍を撮影していました。



全学年がそろった運動会

**イベントに笑顔が戻ってきた**  
 マスクが取れて表情が見える

新型コロナウイルス感染症の5類感染症に移行後、自己判断でマスクをはず人が増えて、笑顔が見えるようになってきました。イベント開催の準備などで生き生きとした笑顔を見ると、自分も笑顔



れていたような気がします。各サロンでも、集まった方々の笑顔の数が、マスクの数を上回ってくれば、元気がたくさん生まれることでしょう。早くそうなって欲しいものです。



# こんなことをやってきました！

新しいスタッフで再スタート

ふる協&地区社協

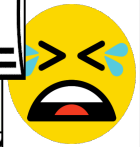
※省略された記事はホームページで！



社協研修



体育祭雨天中止



定期総会



防災カフェ



9月18日

敬老の日記念品贈呈



おでんの会



グランドゴルフ大会



ふれあい文化祭



消化訓練



歌声喫茶



野外炊飯



## 慎重に行事を再開

栄町町会

※省略された記事はホームページで！



社会の日常生活への向き合い方もコロナ禍前の状況に戻ってきていますが、一方で現在も、場所が密なイベントや集会では屋外や屋内に変わりなくコロナ感染者が発生し感染の流行は収まっていません。栄町町会は行事の開催にはコロナ感染防止を第一とした考えで、開催時期と行事内容に応じた方針で行事を開催しております。……(以下略)



「金刀比羅神社祭礼」



「香取神社祭礼」

## 行事だより

通一丁目町会

※省略された記事はホームページで！



### 「初午祭」

2月11日に町会の役員と組長および会員に限定して初午祭を執り行いました。宮司の祝詞奏上と町内各家

庭へお払いの巡回をしました。また、奉納者名簿を会館の掲示板に張り出しました。コロナ禍対策で各町会の来賓者は招待せず身内限定の祭事を行いました。(中略)

「来年度行事の課題」

来年度令和6年は小学4

年から6年生と中学1年生(男女)の担ぎ手を如何に集めるかの方策を具体化することが課題になりました。また、事故防止対策を強化するため役員の役割分担を明確にした上で御輿巡行を執り行う考えです。次年度は「初午祭と香取神社祭礼」は当町会の大切な行事なので招待客(各町会の町会長等や来賓者)を招いて、盛大な催しを実施する予定です。



## 趣向を凝らして活動を継続

泉町町会

※省略された記事はホームページで！



継続と創意工夫で街の活性化を目指します。

4年に及ぶコロナ禍の為、通常の活動が制限されました。そのような状況下、泉町町会では、毎年行事をできる限り継続と新しい事業を創意工夫して行ってきました。(中略)

泉町町会ではLINE回覧を開始しました。結果、家族で町会からの情報を共有し合い、町会の事業に参加、或いは協力者が大幅に増え、町会の活性





化に多大な効果を生じています。高齢化が進む一方で従来の活動に加え、若い世帯の方々と町会の繋がりを深める為にもITCの活用は大切なテーマです。



もらいました。また“地域の歴史を知ろう！”をテーマに古代・江戸・明治・戦後の町会設立から現在に至る迄をパネルで紹介し、地域の皆さんに好評をいただきました。

### 町内会行事をたくさん復活！

富里町会

※省略された記事はホームページで！



5月は、13日に近隣センターへ会員の皆さんに集合頂き、3年ぶりとなる「富里町会定期総会」を開催しました。今年度は、アフターコロナへの移行に伴い、通年開催しているイベントを計画しました。しかしながらコロナ禍2年間の空白は大きく、各イベントの準備段階から手探りの状態で、過去の経験者から教わる事もしばしばでした。(中略)



8月は25、26日に「納涼祭」を無事に富里近隣センターにて開催しました。千代田太鼓も参加頂き、両日に来場者数は300名以上と多く来て頂きました。また、「サポート部夜間パトロール」は毎月継続実施しました。

### 2023年夏 復活の第一歩

緑ヶ丘町会

※省略された記事はホームページで！



令和5年度緑ヶ丘町会の納涼盆踊り大会は、新型コロナウイルスによる感染が収束していない状況でしたが、来場された方々の感染リスクを考慮し、規模と内容を縮小して7月22日(土)の1日間。“復活の第一歩”と位置付けた町会のイベントとして令和元年以来、4年ぶりに一本松公園で開催しました。(中略)



当町会では、“呼魂太鼓”の師範代から指導を受けた子供のOBからなる太鼓部員が中心となり、7月初旬から10数回に渡り太鼓の練習をしました。太鼓部員13名と小学生17名、総計30名で太鼓を叩き、更に輪踊りに加わって会場を盛り上げてくれました。子供向けブースとして、射的、くじ引き等のゲームコーナーと併せて「ブラックライト」による“光るらくがき”ルームを設置して親子で楽しんで

### グループウェアの導入検討

豊町西町会

※省略された記事はホームページで！



(略) 西町会では本年度、町会活動に関する情報の共有、会員相互のより活発な意見交流などを可能とする自治会・町内会の運用向けに作られたグループウェア(「サークルスクエ



ア)を選定)の導入に向け、検討を進めています。従来、必ずしも充分とは言い切れなかった町会活動の周知、およびその迅速性。また、双方向的なコミュニケーション。これらを大きく改善できるのではないかと期待が寄せられています。

### コロナより防災対策！

豊町東町会

※省略された記事はホームページで！



今春。新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行したことを受けて、当町会では遠慮なしに平常運転の町会活動を展開しています。さっそく豊小学校の使用を控えていたため、出来なかった定期総会を、4年ぶりに開催しました。ごみゼロ運動終了後に低見台公園で行うBBQ大会では、コロナ禍の間に転入してきたニューファミリーに案内を戸別配布した結果、たくさん参加してくれました。区別の活動も復活し、防災訓練の一環で行う「AED講習会」や、「図上訓練」。柏市と警察の協力で行う「防犯診断」なども実施できました。小学生から高校生までが対象の「YEY(Yutaka East Youth club)通称イエイ」では大胆にも流しそめん大会を実施。しかし何といっても町会の皆さん待望の夏祭りを、



4年ぶりに開催できた事は感慨深いものでした。また、観光バスで防災研修も4年ぶりに行うことができました。豊町東町会らしい活動ができるようになった令和5年でした。



4年ぶりに開催できた事は感慨深いものでした。また、観光バスで防災研修も4年ぶりに行うことができました。豊町東町会らしい活動ができるようになった令和5年でした。





## 富里近隣センター

### 誰もが気軽に立ち寄れるセンター

柏市富里近隣センター所長 酒井 勉

富里近隣センターに着任した昨年4月当初は、新型コロナ禍の影響でセンター利用者も減少傾向の中、近隣センター本来の重要な役割と考える「情報発信機能」や「課題解決支援機能」も低下気味に感じられました。そこで、今年5月の「新型コロナ5類感染症」への移行を受け、富里地域における大きな「地域課題」である「子育て」や「介護予防」を支援していく上でも、まずは多くの地域の方に来館してもらい、「リピーター」や「新たな出会い」を増やしたいと思いました。そのために、「誰でも気軽に立ち寄れる近隣センター」を将来像とし、以下の取り組みを行いました。

#### ① エントランスの緑化

センターのエントランスを緑化することにより、建物全体の景観を改善して入館しやすい雰囲気を作りました。



#### ② 居心地の良いロビー

採光を活かした明るいロビー、来館者がくつろげる大きなテーブル、椅子及び観葉植物等を配置しました。また、ロビーでは心地よいBGMが流れています。



#### ③ 絵本コーナーの充実

当センターには、図書館の分館機能はありませんが、独自の方法で図書の貸出しを行っています。令和4年度から新たな絵



本を購入し、現在は1000冊を超える絵本・児童書があります。連日、たくさんの子育て世代に利用されています。

#### ④ 季節の行事



季節感を演出できるよう、七夕やクリスマスなど季節行事に合わせた飾り付けをロビーで行っています。

今年の七夕の短冊にはたくさんの来館者の願いが書き込まれていました。



なお、飾り付けにはセンター利用者はじめ地域ボランティアの方の御協力もいただいています。

#### ⑤ 裏庭の活用

これまであまり手入れがされていなかった裏庭の草刈を定期的に行い、富里第三公園と一体利用できるようになりました。400㎡ほどの広さですが、多く



の来館者にご利用いただきたいと思います。

※引き続き将来像の実現に向け様々な取り組みを実施していきます。

### 編集後記

ふる協の広報紙「どんぐり」も、コロナの影響で、発行が不規則になっていましたが、今後は定期的に発行していく予定です。広報媒体としては、公式ホームページも開設していることから、紙面と併用して、より充実した情報発信をしたいと考えています。

ご意見やご質問などございましたら、近隣センター事務室または、下記アドレスにご連絡ください。また、本紙やホームページにて、掲載を希望される方はご連絡ください。可能判断した場合は、資料提供のお願いだけでなく、取材にも伺いますので、よろしくお願いいたします。

柏市富里地域  
ふるさと協議会 広報部

広報部専用アドレス  
furukyo.koho@gmail.com

